

## 一般会計予算決算常任委員会審査日程

日 時 令和6年9月25日（水）

午前10時から

場 所 議場

議案第51号 令和5年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について

議案第61号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について

### **決算認定**   **補正予算**

審査 番号	項 目	出席者
①	決算認定の各分科会長報告・質疑	委員のみ
②	決算認定の討論・採決	採決時の出席者 を想定
③	補正予算第3回の分科会長報告・質疑・討論・採決	

## ■分科会長報告概要■

	令和6年9月定例会
	一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第51号 令和5年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【歳入】</b></p> <p>○1 款 市税 前年度とほぼ同額の 103 億 1,810 万 8,849 円</p> <p>○11 款 地方交付税 前年度比 6.4%増の 84 億 8,786 万 5,000 円 (主な質疑) *「地方交付税が増えた要因は何か」との質問に「「その他教育費」として山口東京理科大学に係るものが 30 億円程度あった。これは数理情報科学科ができたこと、薬学科が 6 年生まで埋まったことにより学生がそれぞれ増加したことが主な要因である」との答弁</p> <p>○15 款 国庫支出金 前年度比 6.4%減の 53 億 482 万 8,458 円</p> <p>○22 款 市債 前年度比 6.4%増の 16 億 6,574 万円 7,000 円</p> <p><b>【歳出】</b></p> <p><b>【山口東京理科大学との協創・データ活用によるスマートシティ推進事業】</b></p> <p>○スマートウォッチや健康データを活用した健康づくりを事業化したものであり、山口東京理科大学が市と連携し、関係課の保健事業に係る実証を行いながら、令和5年度から3年間で実装する計画である。</p> <p>○令和5年度は、健康増進課が行う糖尿病予防教室において実証を行った。参加者21名にスマートウォッチを貸与して歩数や消費カロリー等の健康データを収集し、また、体重等のデータを収集し、分析したデータを基に健康相談指導を行った。その結果、21人中19人については、健康状況、生活習慣が改善され、又は良好な状況を維持できたという結果になった。</p>

(主な質疑)

\*「運用支援業務委託の内容はどういったものか」との質問に「システムを使用する中での改善やセキュリティー面の管理を委託している」との答弁

**【協創によるまちづくり提案事業】**

○令和5年度は、2事業を採択した。

○一つは、「心を動かす音楽を未来を担う若い世代に」と題した北九州グランフィルハーモニー管弦楽団による演奏会であり、実施主体である市文化協会が令和6年2月10日に開催した。なお、寄附額は、目標額である400万円を達成した。

○一つは、「育み続けてきた竹とガラスと人と未来に向かってさらに音楽でパワーチャージ♪『生きる in 山陽小野田』」と題した参加型コンサートであり、実施主体である全国生涯学習音楽指導員協議会山口支部が令和5年11月23日に開催した。なお、寄附額は、目標額である100万円を達成した。

(主な質疑)

\*「補助金を交付するまでのプロセスはどのようになっているか」との質問に「事前相談後に本申請を行ってもらい、庁内の審査会の審査を経て交付決定を行う。その後、ホームページ、ふるさとチョイス等に掲載するための準備を共同で行い、3か月間のクラウドファンディングを実施する。その後、事業を実施し、実績報告を基に補助金を交付した」との答弁

\*「市文化協会が実施した事業の寄附件数は何件か」との質問に「寄附件数は79件である」との答弁

**【地域おこし協力隊募集・活用事業】**

○令和5年度からは、受入れ地域を市内全域に拡大し、募集しやすい環境整備のために委託型を導入し、また、PRのために移住フェアへの出展を行った。

(主な質疑)

\*「担当課が、隊員を募集するまでに至らなかった理由は」との質問に「担当課と協議を行ったが、隊員を受け入れる団体がない、隊員が活動後に市内に定住してくれる計画が描けない等の理由で募集に至らなかった」との答弁

\*「移住フェアに出展した効果は」との質問に「隊員になりたい方がたくさん集まる場で、どのような業務に従事したいか等の意見交換ができ、それによって委託型の導入についても検討することができた」との答弁

### 【ゴルフ場PR事業】

○公募型プロポーザルの結果、受託事業者を市内業者である有限会社きららナビデザインワークスに決定し、ゴルフ場についてのパンフレットを1万部作成した。

○利用者に伝えたい内容やドローンで空撮した動画を見ることができるQRコードも掲載したパンフレットを作成することができたが、仕様書の見直し等を行ったことから令和5年度中に配布することができなかった。

(主な質疑)

\*「デジタル媒体としての活用は検討しているのか」との質問に「非常に効果的な手法だと思うので前向きに検討する」との答弁

\*「外国語版を作成するのか」との質問に「令和6年度に韓国語版と英語版を作成予定である」との答弁

### 【地域運営組織推進事業】

○アドバイザー派遣事業は、話合いの人的支援として行っている事業であり、NPO法人市民プロデュースに委託している。令和5年度には、地域交流センター長、地域づくり支援員、市民活動推進課職員等を対象とした研修会を6回開催し、また、各地区におけるワークショップ開催時の地区からの参加者に対するファシリテーターとなるなどのトータルサポートを行った。

○地域運営組織形成準備補助金交付事業は、話合いの財政的支援として、地域運営組織形成検討会を設置した10地区に対して資料作成や先進地視察等に要する経費等として、1地区当たり10万円を交付した。

(主な質疑)

\*「地域運営組織形成検討会を設置できなかった1地区の状況はどうか」との質問に「その地区はもともと各団体間の連携が強いため、改めて連携・協働するような場を持つ必要がないということから検討会は設置されていない。しかし、地域運営組織に係る地区内での協議は進めていただいている」との答弁

\*「各地区の地域運営組織形成検討会はどの程度視察を行っているのか」との質問に「8地区が10か所に視察に行っている」との答弁

**【集落支援員設置事業】**

○地域からの推薦によって、地域の実情に詳しく、地域づくりの取組に意欲的な人材を地域づくり支援員として市内 11 地区中 8 地区に配置した。

○地域づくり支援員は、地域運営組織形成検討会の運営支援のほか、地域の現状や課題の整理、地域づくり計画の策定支援等を地域交流センター職員とともにやっている。

(主な質疑)

\* 「地域づくり支援員の性別と年齢は」との質問に「性別は男性 6 名、女性 2 名で、年齢は 50 代 3 名、60 代 3 名、70 代 2 名である」との答弁

\* 「地域づくり支援員は有償であるが、地域運営組織の構成員は基本無給であるため、歪み生まれぬよう役割を明確にすべきではないか」との質問に「最終的には各地域の判断となるが、地域づくり支援員は地域運営組織の会長等にならないようお願いしている」との答弁

\* 「雇用を拡充する考えはあるのか」との質問に「地域差はあるものの、支援員の業務量は多く、支援員から時間の延長や増員の要望が多いため、体制を考えていく」との答弁

**【サッカー交流公園運営業務】**

○令和 5 年度の年間利用件数は 1,879 件、年間利用者数は 9 万 6,283 人である。

○指定管理者であるレノファ・アクティオ共同体が運営業務を行うようになり、従前に比べて天然芝グラウンドの状態が 1 年を通じ良好ある。また、サッカーのみならず様々なイベントを企画・開催したことや新たに専用ホームページやインスタグラムを開設したことで、コロナ禍により落ち込んでいた利用者数は従前を上回る数値に達することができた。

(主な質疑)

\* 「民間委託した効果は」との質問に「利用受付が土日、昼夜を問わずできるようになった。また、グラウンド管理のために 1 名常駐することでグラウンドの状態に目が行き届くようになり、天然芝を開放できる回数が増えた結果、天然芝グラウンドの利用者は従前の約 2 倍となった」との答弁

\* 「今後の課題はあるのか」との質問に「平日の午前から夕方までに多少の空きがあるので、受託事業者と協議をしていく」との答弁

**【小学校社会科副読本デジタル化事業】**

○令和5年5月に公募型プロポーザル方式により事業者の募集を行い、6月にプレゼンテーションを実施し、制作事業者を決定した。そして、7月から令和6年2月にかけて編集委員、制作事業者、教育委員会事務局によるデジタル副読本制作会議を22回開催し、今年2月に市内小学校2校で試験運用を行った。

○制作した社会科副読本「はっけん！山陽小野田」は、本市の歴史や文化・産業、主要施設など地域の情報を掲載しており、小学校3、4年生の社会科学習で使用している。

(主な質疑)

\*「授業でこの副読本をどの程度使用しているのか」との質問に「3、4年生の社会科学習として、週2～3時間使用している」との答弁

**【自由討議】**

○消防団の装備の充実について

本市の消防団は難燃性・透湿性が乏しい旧式の防火服を使用しているため、早急に新しい防火服を導入する必要がある。

○不二輸送機ホールにおけるイベントの広報手段等の充実について

各イベントを十分に市内外の人々に対して周知できていないため、独自のポータルサイトを創設するなど本市の文化の発信拠点としてふさわしい広報手段等の充実を図るべきである。

○特別支援教育支援員業務委託契約の内容の検討について

特別支援教育支援員は、インクルーシブ教育の面からも不可欠な人材である。優秀な人材を確保し、特別支援教育支援員が十分に活動できるよう、業務委託契約の内容を改めて検討すべきである。

## ■分科会長報告概要■

	令和6年9月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第51号 令和5年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【入学祝金給付事業】</b></p> <p>○次代を担う子供の健全育成を図ること及び子育て世代の定住を目的とし、小学校入学を迎える子供の保護者に対して祝金を給付するもの。令和5年度から対象を拡大し、中学校入学を迎える子供の保護者に対しても祝金を給付する。</p> <p>○申請された方全員に給付している。</p> <p>○対象者の保護者から「子育て世代にはありがたい支援」という意見を頂いている。</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「申請をしなかったのは何名か」との質問に「1名である」との答弁</p> <p>*「子育て世代の定住の一助となっているのか」との質問に「対象者の人数を4月1日時点の住民基本台帳を基に算出する。その数が減っていないことから、定住の一助になっていると判断している」との答弁</p> <p><b>【認定こども園整備助成事業】</b></p> <p>○市内の幼稚園が計画する認定こども園の整備に対して補助金を交付することにより、認定こども園の健全な運営に寄与するとともに、教育・保育環境を整えることで安全な教育・保育を行うことができる。また、幼稚園から認定こども園に移行することにより、3歳未満児の定員を確保し、待機児童の解消を図るもの</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「認定こども園になかなか手が挙げられなかったが、このたび、小野田めぐみ幼稚園が挙げられたということには何か理由があったのか」との質問に「幼稚園として経営していく中で、保護者の働き方がかなり変わってきていると感じていたと聞いている。特にゼロ歳児から2歳児の受入れについては、保護者のニーズが高く、そちらに対応するためにも幼稚園型の認定こども園という形態での経営を考えたと同っている」との答弁</p>

### 【地域子ども健全育成事業】

○令和4年度末で廃止した小野田児童館において実施していた児童の健全育成事業の形態を変え実施するもの

○月2回程度、小野田地域交流センター等を活動場所として、心身の健康の増進や、情操の育成を目的として、遊びや様々な体験を通して、異年齢の児童間や地域との交流を図るもの

(主な質疑)

\*「子供の希望に沿った内容なのか」との質問に「子供の希望を聞いて、講座を開催したわけではない。小野田児童館の廃止時にいろいろな意見を頂き、地域の方の参加や子供に伝統文化等の継承をとというような話もあった。事業者がいろいろ研究して講座を開催していると認識している」との答弁

\*「当初4月から実施する予定が、年度途中の7月からの実施となった。影響を受けるのは子供たちである。調整に時間がかかったのはなぜか」との質問に「当初予算が可決されてから事業者と契約に向けての話合い等を行った関係で、準備に時間がかかった」との答弁

### 【子ども医療費助成拡充事業】

○子育て世代の経済的負担軽減を目的とし、児童の保険適用医療費の自己負担分を助成するもの

○市内在住の小学1年生から中学3年生まで、保護者の所得によらず医療費助成の対象としたことで、子育て支援の一助となっている。

(主な質疑)

\*「令和5年度の助成費が、令和4年度に比べて約5,000万円増加した理由は何か」との質問に「所得制限の撤廃と新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、自己負担分が増えたことが原因と思われる」との答弁

### 【小野田地区公立保育所整備事業】

○本市の公立保育所は老朽化や定員に対する入所児童割合の不均衡に起因する非効率な運営等の課題を抱えている。それらを改善するため、公立保育所再編基本計画に基づき再編整備を行うもの。令和5年度は、小野田地区の日の出保育園の整備を行った。

○令和5年度は、基本設計業務を完了させ、建築部分に係る実施設計業務にも着手した。また地質調査業務を行うとともに、水路・造成工事に係る実施設計業務を行い、工事に着手した。

(主な質疑)

- \* 「地質調査の結果はどうだったのか」との質問に「結果としては、新園舎を建てるところの下に古洞はないということ、地下 10 メートル程度のところに支持地盤があるということが分かった。また、表面付近の土質が少し柔らかく、直下型地震の際には液状化の可能性があるとということが分かり、それに耐え得るくいを打つための地盤の改良を行う必要があることが判明した」との答弁
- \* 「水害の危険性についてはどのように対応するのか。」との質問に「水害の対策は、土地のかさ上げを十分に行うこととしている。グラウンドレベルで 80 センチメートルのかさ上げを行い、建物については、そこからフロアレベルで 30 センチメートルかさ上げを行う。この辺りで一番低いところと比べ、110 センチメートルのかさ上げをすることでの水害対策を考えている。また、一番大事なのは人命である。この場所は、ハザードマップ上は高潮、津波、洪水で避難が必要な地域となっているので、避難確保計画を適切に定め、それに基づき早めの避難行動をしていきたいと考えている」との答弁

**【葉酸サプリメント配布事業】**

- 対象となる方にサプリメントの配布を行うことで、安心・安全な妊娠・出産・育児につながる一助となるよう、令和 5 年度から新たに始めた取組である。
- 配布数は、妊婦がボトル 1 本 (75 日分)、婚姻届を提出された方が 2 本 (150 日分) である。配布の際には、保健師又は管理栄養士が必ず面談を行い、服用方法などを説明した上で配布するとともに、食生活への助言等も併せて行っている。

(主な質疑)

- \* 「葉酸サプリの効果は認知されているのか」との質問に「具体的な名称も含めて、若い方の認知度は低いと感じる」との答弁

**【飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業】**

- この制度は、飼い主のいない猫の繁殖防止及びそれらの猫による生活環境被害の軽減等を目的として、TNR 活動を実施する、市に登録した地域猫活動団体に補助金を交付するもの
- 補助金額は、不妊・去勢手術に係る費用、オス 1 頭につき 5,000 円、メス 1 頭につき 10,000 円を補助する。令和 5 年度実績は、交付決定件数 12 件、オス 73 頭、メス 84 頭の合計 157 頭、119 万 9,696 円を不妊・去勢手術費補助金として交付した。
- 令和 5 年度末時点で 6 団体あり、そのうち 4 団体に交付決定をし

	<p>た。</p> <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>* 「実施地域は、自治会からの依頼があって行くことが多いのか」との質問に「そうである」との答弁</li><li>* 「市が貸し出す捕獲機の数は十分だったのか」との質問に「予想以上に避妊去勢の数も多く、少し捕獲機が不足していた」との答弁</li></ul>
--	---

## ■分科会長報告概要■

	令和6年9月定例会
	一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第51号 令和5年度山陽小野田市一般会計歳入歳出決算認定について
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【浄化槽整備推進事業】</b></p> <p>○浄化槽の補助金を個人住宅に交付するもので、公共下水道事業計画区域外及び農業集落排水整備区域外にある住宅に浄化槽を設置する人に対して補助金を交付するもの</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「通常補助による浄化槽設置件数より上乗せ補助による件数が多い理由は」との質問に「令和5年度から実施を始めた事業で、上乗せ補助について広報紙等でPRした効果があったためである」との答弁</p> <p>*「令和4年度に比べて令和5年度の設置件数が倍以上に増えたのは、上乗せ補助の効果によるものか」との質問に「そのとおりである」との答弁</p> <p><b>【有害鳥獣対策協議会支援事業】</b></p> <p>○有害鳥獣による農林水産物等への被害の軽減を目的に、市有害鳥獣対策協議会の運営費の一部を補助するもの</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「ICTわなを設置した場所はどこか」との質問に「小野田地区の江汐公園と山陽地区の石山公園である」との答弁</p> <p><b>【市道くし山線道路改良事業】</b></p> <p>○県道小野田山陽線の4車線化事業による交差点改良に併せて、市道くし山線の拡幅と歩道の設置を行うことで利用者の交通安全環境の向上を図るもの</p> <p>(主な質疑)</p> <p>*「目標達成度がDである理由は」との質問に「50%未満の場合に目標達成度がDとなる事業の達成率が28.5%であるため」との答弁</p>

#### 【河川整備事業】

○境川の未整備区間の護岸を整備し治水安全度の向上を図るもの  
(主な質疑)

\*「工事が終わる予定は」との質問に「非出水期の11月から5月の間しか工事ができないため、令和10年度以降までかかる予定である」との答弁

#### 【厚狭駅前駐輪場整備事業】

○JR厚狭駅周辺の駐輪スペース不足を解消するため、市有地を活用し、駅在来線側に駐輪場を整備するもの  
(主な質疑)

\*「駐輪台数はどれくらいか」との質問に「40台前後である」との答弁

#### 【テニスコート改修事業】

○都市公園内にあるテニスコート（江汐公園、浜河内緑地、須恵健康公園）について、スポーツ振興くじ助成金を活用し、計画的にコートや設備等の改修を行うもの。

令和5年度は浜河内緑地のテニスコートを4面改修した。

(主な質疑)

\*「浜河内緑地のテニスコートの利用状況は」との質問に「令和5年度については約1,600人である」との答弁

\*「スポーツ振興くじ助成金とは」との質問に「文部科学省が所管しており、サッカーくじの売上げで得られた資金を地方公共団体のスポーツ施設の整備などに活用している」との答弁

#### 【市営住宅建替整備事業】

○令和3年度に策定した山陽小野田市市営住宅等長寿命化計画に基づき、耐用年数超過により安全性や設備水準が低い市営住宅のうち、安全性、生活利便性、敷地等の条件を検討し、叶松団地、平原団地、西善寺団地を対象団地として建替事業を実施するもの  
(主な質疑)

\*「令和5年度の団地建替による移転件数は」との質問に「叶松団地の10世帯である」との答弁

\*「事業についての地元説明の状況は」との質問に「8月と9月に事業説明を行い、アンケート調査等を各団地で2回行った。また、12月に各団地に1回ずつ行って意見を聴取した」との答弁

(自由討議)

○住宅リフォーム資金助成事業に係る予算の増額について

住宅リフォーム資金助成事業は、助成金の受付期間内に申請額が予算額の上限に達し、市民の要望に十分に応えられていない。そこで、来年度以降の住宅リフォーム資金助成事業の予算の増額を求める。

## ■分科会長報告概要■

	令和6年9月定例会
	一般会計総務文教分科会
議 案 件 名	議案第61号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について
担 任 事 項	総務文教常任委員会が所管する部分
概 要	今回の補正は、災害応急対応に必要となる経費等、取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【歳入】</b></p> <p>○10 款 地方特例交付金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 項 1 目地方特例交付金 1,004 万 3,000 円の減額 令和6年7月23日付けで令和6年度の交付額が3億995万7,000円と決定されたため、予算との差額を減額補正するもの</li> </ul> <p>○11 款 地方交付税</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 項 1 目地方交付税 1億5,289万7,000円の減額 令和6年7月23日付けで令和6年度の交付額が77億6,710万3,000円と決定されたため、予算との差額を減額補正するもの。</li> </ul> <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「予算額と決定額が乖離したのはなぜか」との質問に「「その他教育費」において山口東京理科大学の単位費用を過大に見積もっていたことが要因の一つである」との答弁</li> <li>* 「今回のような乖離は、今後もあり得るのか」との質問に「事前に与えられる情報が限定的であるため誤差を完全になくすことは難しいが、このたびの乖離を分析し、今後の予算編成に生かしたい」との答弁</li> </ul> <p>○19 款 繰入金</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 項 1 目財政調整基金繰入金 1億9,541万7,000円の増額 このたびの補正の財源調整として繰り入れるものであり、財政調整基金の令和6年度末の予算上の残高は、令和5年度決算を反映させた状態で32億4,693万7,000円となる。</li> </ul>

**【歳出】**

○2 款 総務費

- ・1 項 10 目 地域振興費 財源内訳の変更

ハロウィンイベントの事業費 500 万円のうち 333 万 3,000 円を「まちづくり魅力基金」から「観光交流助成事業助成金」に振り替えるもの。当該助成金は、今年 6 月に公益財団法人山口県市町村振興協会から観光交流拡大を目的として行うとの通知があったもので、助成対象経費の 3 分の 2 が助成されるもの

- ・1 項 14 目 防災費 510 万円の増額

過去 5 年間の秋の台風シーズンに支出した委託料の額を参考にして災害応急工事委託料を増額補正するもの

(主な質疑)

\* 「災害応急工事は、どのような流れで行うのか」との質問に「災害発生後、市民等からの連絡を受けて担当部署の職員が現地を確認し、担当課と総務課で協議し、災害応急の対応が必要であれば業者に発注し、工事に取りかかることになる。迅速に復旧工事ができるように取り計らっている」との答弁

- ・1 項 17 目 国際交流等推進費 81 万 8,000 円の増額

本市の友好都市であるオーストラリアのモートンベイ市のフラナリー市長が、さらなる友好都市交流の充実を目的として本市を来訪することとなったため、来訪中に様々な交流事業を行う山陽小野田市国際交流協会に財政支援を行うため補正するもの

- ・7 項 1 目 大学費

公立大学法人運営基金積立金 1,095 万 9,000 円の減額

令和 6 年度に公立大学分として措置される普通交付税の額が決定したことに伴い減額補正するもの

○7 款 商工費

- ・1 項 4 目 観光宣伝費 250 万円の増額

観光交流助成事業助成金を活用して山陽小野田名産品活用促進事業を行うため補正するもの

(主な質疑)

\* 「名産品をどのように広めるのか」との質問に「PR や販路拡大を進めるために、JR 小倉駅の改札前広場での物産展を行うこと、福岡市や北九州市内の商業施設内での PR を行うこと、毎年 1 月におのだサンパークで開催する山口名産品フェアでの販売促進につながる取組を追加して行うことを考えている」との答弁

○10 款 教育費

- ・ 2 項 3 目学校建設費 443 万 4,000 円を増額

令和 7 年度に赤崎小学校の特別支援学級に転入予定の児童を受け入れるに当たり、今年度中に学校内にバリアフリートイレを設置する必要が生じたことにより、ユニバーサルユニット式のバリアフリートイレを購入し、設置するため増額補正するもの

(主な質疑)

- \* 「当該転入予定の児童以外も使うことができるのか」との質問に「設置場所は昇降口付近であり、誰でも使えるトイレである」との答弁

## ■分科会長報告概要■

	令和6年9月定例会
	一般会計民生福祉分科会
議 案 件 名	議案第61号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について
担 任 事 項	民生福祉常任委員会が所管する部分
概 要	今回の補正は、児童福祉施設災害対策事業、こども家庭センター整備事業等取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【歳出】</b></p> <p>○3款 民生費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2項2目児童措置費 5,799万円の増額 児童手当、保育士独自加配事業、児童扶養手当に関するもの</li> <li>・2項4目保育所費 2,541万円の増額 日の出保育園新園舎建設に係る事業において、工事の施工に起因する地盤変動により建物等に及ぼす影響を調査するために実施する家屋調査業務委託料について、積算基準の変更により増額するものと、令和5年6月末の大雨により被災したねたろう保育園について、浸水対策を講じる工事請負費のうち、前払金分について増額するもの</li> <li>・2項8目子育て総合支援センター費 1,330万2,000円の増額 こども家庭センター設置に関するもの</li> </ul> <p>(主な質疑)</p> <p>*「積算基準にどのような変更があったのか」との質問に「これまで建築物の延べ床面積に係数を乗じて積算していたが、それに加え、敷地面積にも係数を乗じて積算するようになった」との答弁</p> <p>*「かなり広範にわたって浸水対策をするが、この浸水対策で、床上浸水は、もう大丈夫と考えてよいか」との質問に「大雨による桜川の氾濫に対する対策を考えており、今後想定し得る大雨による被害については十分対応できると考えている」との答弁</p> <p><b>【債務負担行為】(追加)</b></p> <p>○児童福祉施設災害対策事業 限度額 3,086万8,000円</p>

**【地方債補正】（追加）**

○こども家庭センター整備事業債 限度額 440 万円

**【地方債補正】（変更）**

○保育所施設整備事業債 限度額 5 億 4,150 万円

## ■分科会長報告概要■

	令和6年9月定例会
	一般会計産業建設分科会
議 案 件 名	議案第61号 令和6年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について
担 任 事 項	産業建設常任委員会が所管する部分
概 要	<p>今回の補正は、商店街等活性化事業、小規模土木事業など取り急ぎ措置すべき案件について補正するもの</p>
論点又は審査によって明らかになった事項など	<p><b>【歳出】</b></p> <p>○7 款 商工費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 項 2 目 商工振興費 100 万円の増額 <ul style="list-style-type: none"> <li>小野田商工会議所主催で開催されるイベント「小野田クリスマス花火 2024」に補助金を交付するため増額するもの</li> <li>(主な質疑)</li> <li>* 「どのようなイベントなのか」との質問に「12 月 25 日に縄地ヶ鼻で花火を打ち上げ、観覧場所はおのサンサッカーパークを予定している」との答弁</li> </ul> </li> </ul> <p>○8 款 土木費</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1 項 1 目 土木総務費 20 万円の増額 <ul style="list-style-type: none"> <li>市道の管理<sup>かし</sup>瑕疵により生じた事故に対する賠償金が不足するため増額するもの</li> </ul> </li> <li>・ 2 項 1 目 道路橋りょう総務費 330 万円の増額 <ul style="list-style-type: none"> <li>小規模土木事業助成金について、今年度実施する予定の事業費を計算すると予算の不足が生じるため増額するもの</li> </ul> </li> </ul> <p>(主な質疑)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>* 「17 件の事故件数はどのように確定したか」との質問に「本人と警察からの申出による」との答弁</li> <li>* 「小規模土木事業助成金の予算が不足した理由は」との質問に「工事に係る材料費や人件費などが高くなったため」との答弁</li> </ul>

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和5年度)

評価分科会	総務文教分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	1	山口東京理科大学との協創・データ活用によるスマートシティ推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民病院、山口東京理科大学、企画部、福祉部等関係各所が定期的に協議し、明確な成果指標を掲げて取り組むべきである。</li> <li>・データ連携基盤の構築やデータの分析を進め、施策に幅広く活用されたい。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康づくり以外のジャンルにおいても、何らかのスマートシティの取組を推進されたい。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	2	協創によるまちづくり提案事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>・ガバメントクラウドファンディングは、協創によるまちづくりに効果的な施策である。今後、提案事業の数や達成金額を増やしていくことで一定の効果が望めると考える。一つ一つがより質の高い事業となるよう、実施主体となる市民活動団体とさらに協議を重ねられたい。</p>

その他特記事項
<p>・市民活動センター等との連携を密にし、継続的に行うべきである。</p>

対象事業	No.	事務事業名
	3	地域おこし協力隊募集・活用事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各課と前向きな協議を重ね、隊員の受入先を増やすべきである。</li> <li>・本市には様々な課題があるにも関わらず、その課題解決に向けた募集ができていない理由を明確にし、隊員が「住みたい」「働きたい」と思える環境を整えるべきである。</li> </ul>

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	4	ゴルフ場PR事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>・ゴルフはスポーツと娯楽の両面からのアプローチが必要である。本市にゆかりのあるプロゴルファーに協力を仰ぐことやデジタル技術を活用するなど、さらに注目されるPRを行うべきである。</p>

その他特記事項
<p>・事業内容の充実を図りながらゴルフ場を拠点とした市内周遊をさらに促すことが必要である。</p>

対象事業	No.	事務事業名
	5	地域運営組織推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域運営組織形成検討会設置に向けた取組が各地区の地域運営組織の形成に向けた足がかりとなった。しかし、地域において理解度や対応は様々であり、残された課題への取り組みが急がれる。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地域出身の市職員は、もっと積極的に関わるべきである。</li> <li>・各地域の実情に合わせ、さらなる人的、財政的支援を行う事業が必要である。</li> <li>・アドバイザー業務委託の形態については、合理的・効果的に業務ができるよう再考すべきである。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	6	集落支援員設置事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>・各地域の支援員の勤務内容を把握し、パフォーマンスが十分に発揮できるように人数や待遇面などの環境を整備すべきである。</p>

その他特記事項
<p>・支援員は有償であるので、あくまで中間支援としての役割に徹すべきである。各地域の実情にもよると思うが、支援員は原則として地域運営組織の会長や部会長になるべきではない。</p>

対象事業	No.	事務事業名
	7	サッカー交流公園運営業務

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・平日の午前中などの予約が少ない時間帯を埋めるよう、各部署との連携が必要であり、成果の拡充を期待する。</li> <li>・自主企画運営業務を更に充実させるべきである。</li> <li>・トップチームの練習拠点、スポーツによるまちづくりの推進拠点として、市民への認知度を向上させるとともに利用者拡大に向けた事業を更に展開していく必要がある。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・スポーツの拠点として、駐車場の再整備や緩衝緑地との関係性を協議し、エリア一帯を計画的に整備する事業を行うべきである。</li> <li>・広報の充実など多くのスポーツ活動に利用できる環境・体制づくりが必要である。</li> <li>・スマートフォンやパソコンで施設の利用予約ができるようにし、利便性を向上させるべきである。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	8	小学校社会科副読本デジタル化事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>小学生3.4年生以外にも積極的にツールを使用してもらい、ふるさとを深く知ってもらえるような取組を拡充するべきである。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>学校関係以外での活用も検討されたい。</li> </ul>

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和5年度)

評価分科会	民生福祉分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	9	入学祝金給付事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
次世代を担う子どもの健全育成と子育て世代への支援のひとつとして必要である。

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果が「子育て世代の定住の一助になっている」と書かれているが、評価がしづらい。</li> <li>・中学は特に制服代等が高額になり、学年によってはリユースを利用できないので、この事業は続けるべきである。</li> <li>・できれば学期ごとに振り分ける手法も有効である。</li> <li>・子育て支援の充実、保護者の負担軽減に向けた取組に期待する。</li> <li>・本市の特長ある子育て施策であるので、PRすることが大事である。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	10	認定こども園整備助成事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・完了事業</li> <li>・認定こども園を整備する事業者にとって必要な事業である。</li> </ul>

その他特記事項

対象事業	No.	事務事業名
	11	地域子ども健全育成事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充			○	
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>子供の意見を聞いて、子供達が喜び、興味が持てる事業として更なる展開をしていただきたい。また、令和8年度には他の児童館も同様の事業に移行するので、それまでに進め方を確立していただきたい。</p>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供の可能性を豊かにするためにも続けるべきである。</li> <li>・参加児童が楽しめる遊び(メニュー)の調査をすべきである。(例えば、スケボー、ボルダリング、囲碁、将棋など)</li> <li>・委託先と遊びの内容を協議して、子供がワクワクする遊びも考えていくべきである。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	12	子ども医療費助成拡充事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
所得制限を撤廃したことは評価に値するが、他市の例に倣い、18歳未満までを目指すべきである。

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・助成内容については、財政状況や他の子育て支援策を勘案しながら、子育て環境の充実に期待する。</li> <li>・財源は一般財源・高額療養費・ふるさと支援基金であるが、新たな財源確保が必須である。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	13	小野田地区公立保育所整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画通りに事業を進められるよう注力するべきである。</li> <li>・施設が老朽化する中、保護者も、園児も安心、安全に通園できるようにするため必要である。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・待機児童の減少に繋がると思われる。</li> <li>・希望者数の調査と分析をすべきである。</li> <li>・保育園周辺の交通渋滞、車の事故のない外部環境の整備が必要である。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	14	葉酸サプリメント配布事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<p>神経管閉鎖障がい等の予防や妊娠期を安心して過ごす一助になっているので今後も必要である。</p>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な機会を通して、より効果的な周知をすることに期待する。</li> <li>・サプリメントの効用をしっかりPRしていくべきである。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	15	飼い主のいない猫不妊・去勢手術補助事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・市の役割として、団体と自治会・相談者を結びつける役割を期待する。</li> <li>・予算の概要にも記されているが、年々増加する飼い主のいない猫による生活環境トラブルを減少させるために必要である。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・各団体へのヒアリングを実施すべきである。</li> <li>・この事業の成果は目に見えてきているので、もっとPRしていくべきである。</li> </ul>

一般会計予算決算常任委員会事業評価表(令和5年度)

評価分科会	産業建設分科会
-------	---------

対象事業	No.	事務事業名
	16	浄化槽整備推進事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				○
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共下水道の代替えとしての役目は、さらに需要が見込まれるので、引き続き事業の拡大が必要と考える。</li> <li>・下水道整備区域縮小に伴って、下水道が整備されなくなった住民への対応や本市全体の河川の環境保全を考慮すると、事業及び予算の拡充は急務だと考える。</li> <li>・文化的な生活環境を推進していく上で拡充が必要。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・くみ取り世帯へのPRを推進し、補助金を増額する等検討を求める。</li> <li>・将来的には、店舗や事務所などの事業用建物への予算執行を行っていき、市内全体の合併浄化槽普及率を上げていくべきだと考える。</li> <li>・国の補助金確保に努力すべきである。</li> <li>・公共下水道の計画区域から除外された地域に対する補助金上乗せについては、かなり効果が認められる。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	17	有害鳥獣対策協議会支援事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の鳥獣による農林水産物被害は拡大の一途である。今後も継続して有害鳥獣対策協議会へ補助することにより被害を軽減することが大切である。</li> <li>・有害鳥獣による農林水産物被害を軽減するだけでなく、市街地での人的被害を防ぐために必要な事業である。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会の開催が年1回となっているが、狩猟時期前後も含め支援事業等情報交換のため開催回数の増やす。</li> <li>・担当課職員の負担軽減の為に、協議会をもっと活用する方法について調査研究するべきである。</li> <li>・捕獲隊や実施隊等、捕獲体制の強化を図っていく必要がある。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	18	市道くし山線道路改良事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
・市民の関心の高い事業である。県道の早期開通のために計画を着実に進めていきたい。

その他特記事項
・県事業の早期完成が望まれる。

対象事業	No.	事務事業名
	19	河川整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・境川は未整備区間が点在しており、過去に豪雨による被災履歴があるため、早期の河川整備が望まれる。</li> <li>・受注者の都合による事業の遅れはやむ得ない理由があるにせよ、過去に越水など災害被害が報告されている。早期事業完了は急務であり、当初の予定通り進めるべきである。</li> <li>・地区住民の安全のためにも速やかに進める必要がある。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・近年の集中豪雨などを考えると、土水路は整備しても、すぐに崩れてしまうので、水路のコンクリート化や土水路の集約(1本化)も検討していくべきだと考える。</li> <li>・基本設計が繰越しとなったが、近年の豪雨を考えると早期着工が望まれる。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	20	厚狭駅前駐輪場整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持				
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場に屋根や防犯灯を設置していくべきと考える。</li> <li>・事業完了後の駐輪の状況など委員会として視察することが大事だと思う。</li> <li>・令和6年1月下旬から供用開始された。</li> <li>・厚狭駅新幹線口への駐輪場整備も必要ではないか。</li> <li>・利用者の声を聞いて更なる整備を行ってもよいのではないか。市のモデル駐輪場となることも考えられる。</li> <li>・完成したが、その後の整備をどう進めるかが必要となる。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	21	テニスコート改修事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の利便性、快適性を確保するため、今後も他の財源も視野に入れ事業を継続していくことが大事である。</li> <li>・都市公園内にあるテニスコートは一般のテニス愛好者の使用だけでなく、中高生の大会にも使用されるため、計画的に改修工事を行う必要がある。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・減少しつつある利用者人数を増やす努力をすべきである。</li> <li>・委員会として現地確認の必要があると思う。</li> <li>・スポーツ振興くじ助成金を有効的に活用しながら、計画的に事業を進めていく必要がある。</li> <li>・利用人数増加のために広報を強化すべき。その結果を注視していきたい。</li> </ul>

対象事業	No.	事務事業名
	22	市営住宅建替整備事業

今後の方向性					
成果の方向性	拡充				
	現状維持			○	
	縮小				
	休廃止				
		皆減	縮小	現状維持	拡大
		コスト投入の方向性			

今後の方向性の理由
<ul style="list-style-type: none"> <li>・長年放置された市営住宅にやっと本格的な事業が始動した感である。今後は計画通り着実に事業が実施されるべきである。</li> <li>・市営住宅等長寿命化計画に基づき、安全性や設備水準の低い市営住宅の建替事業を計画的に実施する必要がある。</li> <li>・計画通りに進んでいる。</li> </ul>

その他特記事項
<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者のための整備事業になっているのか。建て替えや改修により、高齢者にとっても利便性向上を求めた事業を進めて行きたい。</li> <li>・市営住宅を廃止して発生した空地进行を民間へ払い下げたり、複数の自治会の公会堂建設用地にしたり、災害時の緊急避難場所や避難所へ活用していくべきと考える。また、市営住宅の廃止を進めていく一方で、低所得者への民間アパートの家賃補助制度の設立に向けて調査・研究・検討をして欲しい。</li> <li>・社会資本整備総合交付金の確保に努めるべきである。</li> <li>・現状の社会情勢や住生活を取り巻く環境に合わせた対応が必要である。</li> <li>・政策住宅により入居をストップしている地域の決定を急ぎ、建て替えの方向を示す必要がある。</li> </ul>